

「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」 事業報告書

団 体 名	SORAN HEART FESTIVAL 実行委員会			
事 業 名	第1回 SORAN HEART FESTIVAL			
実 施 期 間	令和5年9月3日			
事業の目的及び期待する効果	・市民や観光客、出演者が会場内や周辺地域にもたらす直接的な経済効果が期待できます。 ・「小樽＝YOSAKOI ソーランの街」という地域作りにおける新たな可能性を創出します。 ・小樽が「北海道の心臓と呼ばれた街」であることを市内外の人により広く知らしめるきっかけにします。 ・多くの市民が YOSAKOI ソーランに触れられる環境を作り、市民の健康増進、青少年の健全育成、市民のコミュニティ作りなどに繋げ、街の魅力拡大に貢献します。			
実 施 額	事業費	820, 385円	助成額	300, 000円
事 業 内 容	・「小樽が再び北海道の心臓と呼ばれる町となる」というコンセプトのもとイベントを開催し、北海道中の YOSAKOI ソーランチームや小樽市内のスポーツ団体の、計19団体に小樽港マリーナにて演舞を披露していただきました。 ・小樽市内外の飲食店やキッチンカー計11店舗に出店していただき、出演者やお客様に美味しい昼食を楽しんでいただきました。 ・小樽市に籍を持つチーム「YOSAKOI ソーランチーム傾徒」や「小樽商科大学“翔楽舞”」のメンバーがボランティアスタッフとしてイベントの進行や運営、警備を行いました。 ・傾徒や翔楽舞が小樽市の子ども団体「SAFY」に YOSAKOI ソーランのレクチャーを行い、子ども達が踊りを披露する機会を創出しました。 ・駐車場や待機場所のご提供、運営費用のご協賛など、多くの地元事業者様のご協力によりイベントを開催することができました。			

○事業の日程について

月日	内容	想定事業効果 (参加人数等)	事業効果 (実績)
R5. 9. 3	第 1 回 SORAN HEART FESTIVAL 開催	出演者数 500 人 観客数 1,500 人	出演者数 約 400 人 観客数 不明

○事業評価について

1. 事業の目的の達成度

・会場内の出演者、来場者の方にアンケートを行い、86名の方に回答いただきました。集計の結果、①観覧者：出演者＝8：2②小樽在住：それ以外の地域在住＝4：6③10～20代：30～40代：50代以上＝3：4：3、と幅広い層の方が YOSAKOI ソーランに触れる機会を創出できたことが分かりました。・会場に隣接するウイングベイ小樽様にヒアリングを行い、イベント当日はイオン小樽店やテナントへの来客数が増加し、築港エリアへの経済効果の波及に繋がったことを確認できました。・参加された子供たちから、踊りに対して興味が湧いたとの声をいただき、市民の健全育成、健康増進に繋げることができました。

2. 参加した方々や、周辺の方々の満足度

・上述のアンケートでイベントへの感想を募集しました。多くの方から、札幌に行かないと観ることができないと思っていた YOSAKOI ソーランを小樽で楽しむことができ満足したという感想をいただきました。・YOSAKOI ソーラン業界でも、ニシン漁で栄えた歴史を有し、ロケーションも素晴らしい小樽で演舞できたことが嬉しく、来年以降も継続して開催して欲しいという声を数多くいただきました。・不満点としては、当日は猛暑での開催となり、出演者用の給水スポットは用意していたものの、観客向けにも熱さ対策を徹底して行って欲しいとの声を複数頂戴しました。

3. 今後の事業について

・来場者や出演者、ご協力いただいた多くの方々から高評価を頂戴しており、翌年以降も継続してイベント開催を行っていく所存です。・翌年以降も小樽港マリーナで開催を行う場合は、プロムナードまで演舞、飲食スペースを拡大することや、ウイングベイ小樽を第二会場とするなど、レイアウトに改善を加えることを検討致します。・小樽商科大学の学生から、翌年以降は当日のボランティアだけでなく運営の企画段階で関わりたいとの声を頂戴しており、より幅広い世代のメンバーで実行委員会を再編成する予定です。